



花火・火遊びによる火災防止

花火は楽しく安全に遊びましょう

夏の風物詩でもある花火は見てもやっても楽しいものです。しかし、ルールやマナーを守らなければ思わぬ火災や、やけどを負うなどの事故につながります。

花火で遊ぶ時の注意点

▽大人と一緒に遊びましょう。

子供たちだけで隠れて遊び、事故を起こした例が少なくありません。大人が積極的に参加して花火の正しい遊び方を指導してください。



▽水バケツを用意しましょう。

終わった花火は水バケツにつけましょう。火災の危険を防ぐだけでなく、燃えカスなどで庭や道路を汚さずにすみます。

▽ご近所の迷惑にならないようお願いします。

住宅街で花火をするのは、ご近所トラブルの原因にもつながります。人の迷惑にならない時間と場所を選んで遊びましょう。

火傷・熱傷をしたら

やけどは、熱いお湯や油が体にかかったり、炎やヤカンなどに触れたりすると起こります。あまり熱くない湯たんぼなどでも、体の同じ場所に長時間あたっていると低温熱傷になることがあります。

応急手当の方法

▽できるだけ早く、水道水などの清潔な流水で患部の汚れを落とすとともに十分に冷やします。



▽衣類を着ている場合は、無理に服を脱がそうとせず衣類ごと冷やします。

▽氷やアイスパックを使って長時間冷やすと、冷えすぎてしまい、悪化することがあるので注意しましょう。

▽火事などで煙を吸ったときは、やけどだけではなく肺が傷ついている可能性があるので、救急車で医療機関に行く必要があります。やけどが大きい場合は、すぐに119番通報をしましょう。

ストップ、ドロップ&ロール!! (着衣着火の対処法)

自分が着ている服に火が燃え移ってしまった!



①ストップ! (止まって)



火の勢いを大きくさせないために、その場で止まってください!

②ドロップ! (倒れて)



地面に倒れこみ、燃えているところを地面に押しつけるように、体と地面をくっつけます。

③ロール! (転がって)



地面に倒れたまま左右に転がり、服についた火を窒息消火させます。両手で顔を覆うようにして顔への火傷を防ぎましょう。

きちんとした対処法を知らないと火を消せないどころか、かえって炎が大きくなってしまいます。

「ストップ、ドロップ&ロール」(止まって、倒れて、転がって)という合言葉をキーワードに、正しい対処法を学びましょう。

問合せ先

丹羽広域事務組合消防本部
予防課
☎95-51580

普通救命講習会

日時 8月20日(土)
午前9時30分から正午
場所 丹羽消防扶桑出張所
申込みおよび問合せ先
丹羽消防署本署
☎95-5151
大口出張所
☎95-01119